ぱわ 天白を元気にする力(パワー)

地域をつなげる輪(わ)と 和める(わ)たまり場づくり

そんな思いがひとつになって ▼ ひ ひと名づけました!

発行 社会福祉法人名古屋市天白区社会福祉協議会

E-mail:libertad@mbp.nifty.com

情報紙「ぱわわ」プロジェクト 〒468-0015 名古屋市天白区原一丁目301 原ターミナルビル3階 TEL:052-809-5550 FAX:052-809-5551 E-mail:tenpakuVC@nagoya-shakyo.or.jp http://www.tenpaku-shakyo.com

株式会社 リベルタ 〒468-0053 名古屋市天白区植田南3-501パークハイツ103号 TEL:052-808-0420 FAX:052-808-0421

青報紙「ぱわわ」へのご意見、ご感想も はがき・FAX・メールにて受け付けています

視覚障がいその他の理由で活字のままで読むことの困難な人のために、営利を目的とする場合を除き「録音図書」「点字図書」「拡大図書」等の製作をすることを認めます。



地域福祉推進協議会の事業を中心に 近な地域の取り組みを紹介してい

地域福祉推進協議会は、地域住民みんなで"誰もが安心し て暮らせる福祉のまちづくり"をめざした取り組みを行う ことを目的に、小学校区ごとに設置されている団体です。

住民は誰でも参加OKのオープンな運営をしている山根学区地域福祉推進 協議会。福祉のまちづくりへの思いと、坂の多い地域を考慮して参加者の 安全のために3か所で開くサロン、それぞれの特色・魅力をご紹介します。

サロン「一つ山西」

– おいしいコーヒーが魅力 (日時) 第3水曜日 10:00~12:00 (場所) 山根コミュニティセンター

「おいしいコーヒータイム」が魅力のサロン。 会場に入ると、淹れたてのおいしそうなコーヒー の香りが漂ってきます。お菓子入れに使ってい る紙皿は、サロンに参加している地域のデイサー ビス利用者が作ってきたもの。この日も「そろ そろなくなった?作ってくるね」と笑顔。井戸 年は何をしようかと話すうち、「去年のバーベ 端会議の感覚でワイワイ楽しく過ごしているサーキューは楽しかった」との声があがり、さっそ ロンは、健康やスポーツ、タケノコ掘りなど、 いろんな話しがはずんでいました。





山根カツ子さん(68歳) 左、 井木富美子さん(81歳)中、 水野正義さん(90歳) 右 「3年前に引っ越してきて、 友だちを作ろうと2つのサ ロンに参加しています | と 山根さん。井木さんは「一 人暮らしだと会話するこ とがないでしょ?」と参加。 水野さんは「一人暮らしだ から気軽にどこへでも出 かけるよ」と、サロンのメ ンバーと旅行の打ち合わ せをされていました

サロン「一つ山東」

-企画をみんなで考える (日時) 第4金曜日 13:00~15:00 (場所) 一つ山東集会場

取材当日は年に1回のみんな一斉の誕生会。 全員がプレゼントをいただいてハッピーバース デイを合唱しました。「今年の抱負は?」の問い に「ここに来るのを忘れないようにしたい!」。 にぎやかな会話と笑いが絶えない会場です。今 く来月はバーベキュー企画に決定。今度は何を しようかと考えるのも楽しさのひとつです。



誕生月ごとに、誕生日を祝ってみんなで拍手

サロン「海老山」 さまざまなプログラムを開催 (日時)第1金曜日 10:00~12:00 (場所) 天白助産所

相生山の散策や切り絵、忘年会に新年会など、 毎月のさまざまなプログラムが特色です。取材時 はみんなでペットボトルの蓋を利用したホウ酸 団子作り。「ひとりではやらない。みんなでやる から作れる」とおしゃべりしながら楽しそうに作 業していました。作業の後は、ティータイム。高 齢者の買い物の話しでは、「遠くのスーパーに行 くのは大変。地元農家と協力して近所の公園で朝 市をできたら」とのアイディアが提案されました。



話しがはずむサロンです ホウ酸団子

誰でも参加OKの足例会 (日時) 第3水曜日 19:00~21:00 (場所) 山根コミュニティセンタ

取材に伺ったのは年度初めの総会と定例会。年5回全戸配布し ている広報「やまねふくしだより」を6回に増やそうという提案や、 改めて地域福祉推進協議会の役割を知ってもらおうと規約をみん なで輪読する場面も。定例会は『住民みんなで住みよいまちづく

りの夢を語り実現していこう』 との思いから、誰でも自由に 参加できるオープンな会議に しています。会長の可知さん は「多くの方に参加いただき、 住民感覚でアイディアを出し ていきたい」と語ります。



総会の様子。委員の半数は地域役員では



3つのサロンの取りまとめ役 菅井慶さん(77歳)

「最初は給食会に参加してい たのが、いつの間かサロンの 取りまとめ役を仰せつかって しまいました(笑)サロンは山 根学区の方なら老若男女誰で も参加できますよ」

サロンの問い合わせは、菅井 さんまで **TEL:806-6286**

山根学区地域福祉推進協議会会長 可知 光(みつ)さん 「"楽しく無理せず"がキャッチフレ

ズです。定例会に来て関心を持っ ていただいた方が委員になることで、 地域の大きな力に。もっと多くの 方に参加していただきたいですね」。 定例会のお問い合わせは、可知さ んまで TEL:802-4534





これは昭和40年頃に撮影された天白区内のある場所 です。さあ、どこか分かるかな? 答えはP.3です。 (写真提供:西根和雄さん) 【昔の写真募集中!】



▶デイサービス

◆居宅介護支援事業所 ◆ショートステイ

◆訪問介護◆訪問入浴 ◆福祉用具 5-0100 ◆福祉用具 ◆配食サービス

デイサービスセンター 大根 ☆808-8200

グループホーム 高坂苑 ☆805-1220 キャンニアハウス **平針 1807-3373**

ホームページアドレス http://www.takasaka.info/



- ◆ デイサービスセンター 八事苑
- ショートステイ
- ◆ 居宅介護支援事業所 八事苑
- ◆ 天白区西部地域包括支援センター 〈姉妹施設〉特別養護老人ホーム 第二八事苑

2834-3000

天白区大坪二丁目801番地 介護職員等を募集しております

「やさしい心」が何よりの資格です。 お気軽にお電話ください。

☎834-3000 〈担当〉丹羽







こんなときは さっしょう/

日頃の生活の中での認知症のサイン

- ①今日が、何月何日か分からないときがある。
- ②通院などの外出の予定を忘れてしまうことがある。
- ③同じことを何度も言ったり聞いたりすると指摘されたことがある。
- ④物をどこに置いたかを忘れて探すことが 多い。
- ⑤外出するときに、何度も持ち物を確認する。
- ⑥料理中に鍋を焦がしてしまうなどの失敗 が多くなった。
- ⑦同じ服を着ていることが多い。
- ⑧今までの趣味に興味がなくなってしまった。
- ⑨怒りっぽくなった、頑固になったと指摘されたことがある。
- ⑩慣れた道で迷ったことがある。
- ※これらの項目は、医学的に認知症を診断するものではありません。

第3回 忘れっぽくなった?と心配なとき…

皆さんは「最近、忘れっぽくなった」と感じたことはありませんか?もの忘れが多くなると「も しかして認知症?」と不安になることもあるのでは。

老化によるもの忘れなのか、認知症なのか。その判断は難しいですが、日頃の生活の中で認知症のサインが出ていることもあります。そこで今回は、認知症について、地域包括支援センターの取り組みを交えてご紹介します。

いくつか思い当たることがあるときは、専門の医師に相談を。発症を防いだり治癒できたり、進行を遅らせることができる場合もありますので、早期診断、早期治療をお勧めします。

とはいえ、いきなり病院へ行くのはためらってしまいますよね。そんなとき、地域包括支援センターの「もの忘れ相談医による専門相談」を利用してみてはいかがでしょうか。

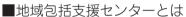
【もの忘れ相談医による専門相談】

不安の解消や早期治療に向けてご利用ください。無料、予約制(前日までにお申し込み)です。

- 対 象:認知症の方を介護されているご家族、認知症について不安をお持ちの方
- 場 所:各地域包括支援センター

実施日時:7月21日(水)、8月18日(水)、9月15日(水) 時間は13:30~15:00の間

地域包括支援センターでは、認知症の方を介護している家族を支援するための「認知症家族教室」や「認知症の家族サロン」も実施しています。お一人で悩まず、お住まいの地域の地域包括支援センターにお気軽にご相談、お問い合わせください。



高齢者の皆さんが、いつまでも住み慣れた地域で安心して生活できるよう、専門職がチームを組んで介護予防、権利擁護、認知症高齢者の支援などを行っている機関です。

天白区東部地域包括支援センター(天白区社会福祉協議会内)

TEL:809-5550 FAX:809-5551 担当地域:植田·原·久方·平針中学校区) 天白区西部地域包括支援センター(八事苑内)

TEL:839-3663 FAX:839-3665 担当地域:御幸山·南天白·天白中学校区)



東部地域包括支援センターの ある原ターミナルビル



西部地域包括支援センターの

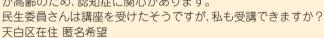
ぱわわひろば

読者のお便り



オレンジ色のリングは何?

時々、民生委員さんがオレンジ色のリングを手首にしているのを見かけます。 お聞きしたところ「認知症の方を見守る サポーターの印です」とのことでした。親 が高齢のため、認知症に関心があります。



オレンジリングは、地域包括支援センターが実施する「認知症サポーター養成講座」を受講された方にお配りしているものです。認知症になると"何もわからなくなるので苦しまない"というのは間違いです。ご本人は、周囲に迷惑をかける不安を抱え、介護する家族も、家族だけで悩みを抱え込むことも少なくありません。認知症を正しく理解して温かく見守り、接していただける方が「認知症サポーター」なのです。

講座はどなたでも受講いただけます。多くの方に、認知症サポーターになっていただければと思います。

【認知症サポーター養成講座を受講してみませんか?】

町内会や老人クラブ、職場の研修、学校のクラブ活動などへの出張講座を実施しています。お住まいの地域の地域包括支援センターに、お気軽にお問い合わせください。

内 容:認知症の基礎知識、支援のあり方など、60分程度。無料です。

毎月開催の講座もあります。

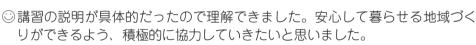
6月25日(金)、8月27日(金) 西部地域包括支援センター 7月13日(火)、9月13日(月) 東部地域包括支援センター ※いずれも13:30~14:30、無料、予約不要(事前にご連絡いただけると幸いです)。

読者の皆様のご意見やエピソードなどを募集しています。情報紙「ぱわわ」プロジェクトあて、郵送またはメール、FAXにてお送りください(連絡先は表紙上部に記載してあります)。文字数は300字以内でお願いします。なお、掲載にあたっては、意味を損ねない程度に編集する場合があります。



ちの声を聞きました 認知症サポーター 養成講座を受講して

受講者の皆さんに感想をお伺いしました。



- ◎認知症の方の自尊心を傷つけないことが大切なんですね。
- ◎不安そうな方を見かけたら、さり げなく声をかけて日常会話で困り 事を探ろうと思います。
- ◎家族だと、つい強く言ってしまいますが、それではいけないということが分かりました。
- ○認知症の方の家族にとっては、認知症サポーターは心強い存在ですね。

(植田・植田東学区受講者)



◎認知症の人はわからないなと思っていたけれど、これからは接し方を考えないといけないと思いました。特別養護老人ホームの方々も、声を出さなくてもご本人の思いがあるんだなと感じました。

(H. Fさん 50代女性)

- ◎私たちにでも役に立つことがあると感じました。今後は"病気の方"という特別な接し方ではなく普通に接することができると思います。 (F. Sさん 60代女性)
- ◎隣近所の関わりがなくなってきている昨今、 このような研修で温かいまちづくりをお願いしたいと思います。

(M. Tさん 50代女性)

◎他人事として無関心でいるのではなく、自分の問題であると認識することが大切。「何かお手伝いすることがありますか?」の一言を言えたらいいなと思います。ご本人の尊厳を失わせることなく、さりげなくお役に立てたらと思います。

(A. Kさん 50代女性)

○8年間、認知症の祖母を家族で介護しました。その頃は介護保険もなく、自宅で24時間の介護でした。情報もなく大変でしたが、近所の方の理解と温かい声かけで心が救われた思い出があります。養成講座に多くの方が参加し理解してくれると良いと思いました。 (H. Sさん 40代女性)



体験利用 見学 随時受付中

http://www.nohonoho.com/index.html

・希望される方 (介護認定を受けた方)は 体験利用(食費400円のみ)で ご利用できます。

・見学を希望される方も お気軽にお電話下さい。

-ビスセンター 天白区福池2丁目340番地 no.com/index.html nonami.f@yk.commufa.jp







「ふれ愛ネット天白」のメンバー紹介

障がい者関係団体や福祉施設、ボランティア団体などが中心 となって「だれもが安心して暮らすことのできる天白区」を めざして活動している「ふれ愛ネット天白」。今号もメンバー を紹介します。

天白おもちゃ図書館「ぽけっと」育成会

心身に障がいのある子どもや乳幼児を対象に、 おもちゃの素晴らしさと遊びの楽しさを提供 しているボランティア団体です。子どもも大 人も一緒になって遊ぶと、笑顔がいっぱい生 まれ、心身ともにリラックスできます。「ぽけっ と」の楽しいボランティア活動で、あなたの 人生を豊かにしませんか?老若男女を問わず ボランティア募集中!気軽に遊びに来てね♪ 第2土曜日13時~15時半、天白生涯学習セ ンターにて活動しています。(連絡先:天白区 社会福祉協議会)

社会福祉法人ほっとはむ

ほっとはむは、地域の人たちに支えられながら、 天白区で障がいのある仲間と一緒に、軽作業・ 喫茶店・高齢者宅配弁当・焼きたてパンやクッキー などを製造販売している作業所と、居宅支援 センター(ヘルパー派遣など)で活動をしてい ます。ほっとはむの理念として、どんな障がい がある仲間も、社会の一員として働き、豊かに 暮らし自立することをめざしています。弁当・ パン・クッキーも良い食材、手作りにこだわり ながら良い製品を届けられるよう、日々頑張っ ています。TEL:808-3613 FAX:808-3699

問合せ先 「ふれ愛ネット天白」事務局(天白区社会福祉協議会内) TEL:809-5550 FAX:809-5551





答えは、一つ山住宅から一つ山第二公園の 方角を望む風景です。植樹された木々はま だ低く、山根町、西入町、高宮町が見渡せま した。「バス停の場所 (写真中央) は当時と変 わっていません。一つ山住宅も平屋の長屋

でした」と写真提供 者の西根さん。現在 の公園は、噴水や遊 500円分の図書カードを 具が整備されています。

天白区内の昔の写真を募 集しています。掲載させ ていただいた方には、 進呈します。

この指とまれ! ボランティア・イベント情報

ボ ボランティア イ イベント

▼ 天白おやこ子育て広場 in Summer2010

毎年恒例の子育て広場。みんなで楽しむプログラム、 自由あそびコーナー、赤ちゃんコーナー、おもちゃ病院、 区内の子育て関係サークルや行政サービスの紹介など、 内容盛りだくさん!

- ■日 時:8月3日(火) 10:00~13:00
- **■会 場:**天白スポーツセンター第1.2競技場

■対 象:未就学児の親子 ■費 用:1組100円

■持ち物:靴袋、動きやすい服装

※ベルマーク、使用済み切手、不要メガネ、ペットボ トルキャップを集めます!

※おもちゃのリサイクル会開催!使わなくなったおも ちゃや絵本 (壊れていないもの) があればご持参く ださい

【ボランティアさん募集】

イベント前日と当日のボランティアさんを募集してい ます。会場設営や撤収作業、抱っこ隊、子どものあそ び相手など、楽しく活動できます♪ 詳細はお問い合わ せください。

- ■主 催:天白区社会福祉協議会、天白スポーツセンター、 天白子どもネットワーク
- ■問合せ先: 天白区社会福祉協議会

TEL: 052-809-5550 FAX: 052-809-5551

皆さんからのお 問い合わせ、お待 ちしております。

☑ 依存症の正しい理解と対応 ~アルコール依存症を中心に~

アルコール依存症、ギャンブル依存症、薬物依存症など、 未治療の当事者の多くは病気と認めることに否定的な "依存症"。アルコール依存症を中心に、依存症に関す る理解を深める研修会です。

- ■日 時:日時:7月8日(木) 13:30~15:30
- ■会 場:天白区在宅サービスセンター研修室(天白 区原一丁目301原ターミナルビル3階) ※駐車場がございませんので、公共交通機 関でお越しください。
- ■費 用:無料
- ■主 催:天白区障害者地域自立支援協議会
- ■申込・ : 瑞穂・天白障害者地域生活支援センター 問合せ先 かけ橋 TEL:052-832-2151

報告!ボランティア交流会

去る2月26日、天白区で初となる「ボランティア交流会」を開催しました。 ボラン ティア登録者に呼びかけ、10名のボランティアさんに参加いただきました。自己紹介 からはじまり、活動をはじめたきっかけ、うれしかったこと、悩んでいること、学んだ こと、若い世代の参加のこと、参加へのきっかけづくり、活動への思いなどについて意 見交換をしました。

参加者からは、「充実した時間だった」「より 多くの人に参加してもらいたい」「定期的に開 催してほしい」とのご意見をいただきました。

このボランティア交流会は、天白区社会福 祉協議会第2次地域福祉活動計画(てんてん プラン2009) に基づく取り組みです。 今後も 内容を充実させながら続けていきますので、 皆さんもぜひご参加ください!



作成しました!「ボランティア入門ガイド はじめの一歩」

天白区社会福祉協議会では、第2次地域福祉活動計画(てん てんプラン2009) の取り組みの中で、 初めてボランティア活 動をされる方に分かりやくす情報をお届けする冊子「ボランティ ア入門ガイドはじめの一歩」を作成しました。

ボランティア活動に関心はあっても「どうやって探すの?」 「どこで相談したらいいの?」など行動に移せないでいる方は いらっしゃいませんか? この冊子は、スムーズに活動が始め られるよう、前半ではボランティアを始めるまでの具体的な 流れや方法、後半では天白区内のボランティア情報をたっぷ りと掲載しています。

冊子は、天白区社会福祉協議会ボランティアセンターで入 手できます。場所は地下鉄原駅の真上、原ターミナルビルの3階です。廊下にもボラン ティア情報をはじめいろいろな情報を掲示しています♪ お気軽にお越しください♪





社会福祉法人 天白原福祉会

特別養護

事業 🛑 介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム) 定員60名 内容 ● 短期入所生活介護(ショートステイ) 定員15名

■■■■■■ 天白区原三丁目1905番地 ■■■

http://sky.geocities.jp/senjunosato/index.html

介護スタッフ(有資格者)募集 あなたらして 社協ホームヘルパー 「なごやかスタッフ になりませんか。 空いている曜日、時間に

社会福祉法人名古屋市

在宅福 祉 部 ☎052-731-9758 まずはお気軽に 天白区介護保険事業所 ☎052-800-2255



万全のアフターサービス 24時間完全管理

マンション入居

マンション・店舗・倉庫・事

親切、ていねいな当社に ご相談ください。

住環境良好、新築・1ルーム多数有り!

モデルルーム有り カーテン照明器具プレゼント!

社 ● 名古屋市天白区原五丁目1401番地

無理なく働けます。

名 東 支 店 ● 愛知郡長久手町戸田谷1024番地

港 支 店 ● 名古屋市港区春田野一丁目205番地

☎ (052) 303-6123 (代) ☎(052)604-0808(代)

☎(052)803-8123(代)

☎ (0561) 63-1123(代)

東 海 支 店 ● 東海市富木島町伏見一丁目17番7 守 山 支 店 ● 名古屋市守山区瀬古東一丁目1801番地 ☎(052)792-5123(代)

ホームページアドレス http://www.honshu.co.jp/

25 苦手な事に取り組む時のヒント

小学3年生になった娘。 手先は器用で力もありますが、手 を握り続けることが苦手です。自 転車のブレーキをかけたり、鉄棒 にぶら下がることができません。

発達障がいのある人の中には、 手足の位置や動きなどの感覚が弱 い人がいます。視覚や触覚などで



娘は料理が好きで手伝ってくれ ます。先日あることに気付きまし た。茹でたほうれん草を束にして、 両手で水を絞る動作、上手に水が 切れていて…あれ?しっかり手で つかめているかも?本人は無意識 で数秒間握り続けています。

野菜で練習をしたのではなく、 自然に補うようですが、 学校で毎日する雑巾絞りが手を握 極端に不器用、目でる動作につながったようです。こ 見て両足を確れで鉄棒ができるわけではありま 認 しな い せんが、苦手な事に取り組むヒン トは、日常生活の意外なところに い人もいもあると感じました。

(めりぃ)

16 「認知症の人の世界を知る(その13) "なじみのお仕事(男性利用者の役割)"

さんご夫婦は、認知症をお持ちです。さんの旦那様も、昔のなじみとい ある日のNさんたちは、デイルー うことで参加。この時ばかりは血 ムの加湿器が気になって落ち着かが騒いだのか、お一人であちこち ない様子。何度も「危ないよ」「あ 歩き回り、職員は「クララが立った」 れでいいの?」と話されています。 のごとく大変驚きました。 気になった職員はNさんご夫婦の ことを調べてみました。

昔、Nさんの旦那様は、消防署へ 者様の活き活きと 勤務されていました。当然、防災はした生活には、な 念入りでした。Nさんご夫婦は、加 じみの仕事(役割) 湿器から上がる蒸気を煙と見て、 居ても立ってもいられなかったの 方・機会が必要 です。

先日、施設で消防訓練を行いま

グループホームにお住まいのN した。普段、歩行がおぼつかないN

男性の"なじみ"は、仕事の場合 が多いもの。男性の利用

に配慮した接し なのです。

(モカ)

天白の井戸端 今回のお題「湿原」

たくさんのご 応募 ありがとうございました!

湿原の湧き水澄みて魚の群れ

· 50 · 50 · 70 ·

天白に湿原ありて癒されし (※)

(宮田ゆり子さん)

湿原のざぜん草みて背をのばす

湿原で君と二人で空気吸い (伊藤由紀子さん)

今回、その中から選りすぐりの7点を選ばせていただきました。

揺らぐ影水に流され水芭蕉

湿原を疾言という失言だ

我が庭に現る湿原梅雨の朝

次回のお題「里山」 締切:平成22年8月2日(月)

(※) 天白区に湿原があるのをご存じですか?島田緑地公園内にある島田湿原です。

誰しも加齢とともに物忘れは不安なものです。2面の認知症のサイン あなたはいかがでしたか?昨秋、百歳を迎えられた詩人、まど・みち おさんが「ボケのおかげで遭遇する世界のあまりの面白さに老夫婦の 索漠たる日常に笑いが生まれる… それは天のお恵み… (『いわずにお れない』集英社 be 文庫)」とおしゃっています。私たちもそんなゆっ たりとした気持ちで、人生を楽しみたいものですね。(みよ)

_{問合せ先} 社会福祉法人 名古屋市天白区社会福祉協議会 情報紙「ぱわわ」担当 兼松 〒468-0015 名古屋市天白区原一丁目301番地 原ターミナルビル3階 TEL:809-5550 FAX:809-5551 E-mail:tenpakuVC@nagoya-shakyo.or.jp

しゃきょうからのお知らせ

平成22年度福祉団体活動経費助成のご案内

地域に根ざした活動を行っている福祉団体を支援するため、その活動経費を助 成します。

[助成対象] 次のいずれにも該当する活動

○天白区内を中心とした活動 福祉を目的とした活動

○営利を目的としない活動

平成22年度の活動にかかる、備品費や会場費、講師謝礼などの経費 ※人件費などの団体運営にかかる経費は対象となりません。

1団体上限5万円

※今年度は選考により3団体を上限として助成を行う予定です。

チラシ(コミュニティセンターなどへ配置)の中の申込書に必要事項をご記 入のうえ、天白区社会福祉協議会(〒468-0015 天白区原1丁目301 原 ターミナルビル3階)まで郵送またはお持ちください。7月23日(金)必着。



次の方々より天白区社会福祉協議会にご寄付をいただきました。厚くお 礼申しあげます。天白区の地域福祉推進に有効に活用させていただきます。 (平成22年2月1日から平成22年4月31日受付分 受付順)

○名古屋ヤクルト販売株式会社 様

○匿名 2件図













